

2018年度SSTA科学教育若手教員研修会 北海道北大会開催報告

1 研修テーマ

「科学が好きな子どもを育てる授業のあり方」

2 研修テーマについて

理科の見方・考え方を働かせた問題解決の学習を通し、科学が好きな子どもを育てるためには、どのような授業づくりをするとよいのかを考え、実践的な指導力の向上につなげる。

■研修目標

- ・自然の事物現象に教員が自ら親しみ、その感動を子どもに伝えられる教員になる。
- ・基本的な実験・観察の技能を身につける。
- ・理科の指導についての指導案が具体的に立案できる力を身につける。
- ・他支部の先生方との交流を深め、切磋琢磨しあえる仲間をつくる。

3 開催日時 2018年6月16日（土）～17日（日）

4 開催場所 旭川市立青雲小学校
旭川キャピタルホテル

5 実施内容

(1) 開会行事

- | | |
|--------------|--------|
| ① 北海道北支部長挨拶 | 川島 政吉 |
| ② SSTA常任理事挨拶 | 鈴木 和美様 |
| ③ ソニー教育財団挨拶 | 福留 仁様 |
| ④ 講師等紹介 | |
| ⑤ 事務局連絡 | 木村 栄二様 |

(2) 講義・基調提案

- ① 講義「『理科の見方・考え方』を働かせる」

講師：三木勝仁 校長（富良野市立樹海小学校）

- ② 基調提案 本研修のねらいと研修の進め方 研修リーダー：藤橋真臣



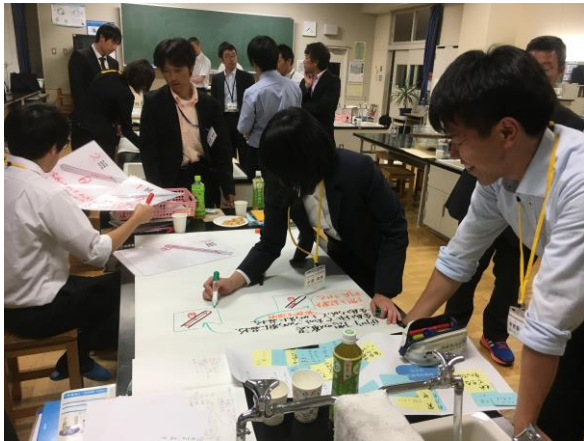
理科の見方・考え方について、領域ごとの例を挙げながら、この後の研修につながる講義をしていただいた。研修員は、熱心にメモを取りながら見方・考え方について研修を深めていた。

(3) 班別研修会

はじめに、学年ごとに科学が好きな子ども像について話し合い、授業づくりについてのイメージをもち、単元の構想を考えた。それらについて整理してから子どもが興味をもつための教材について考えた。

■研修单元

- | | |
|----|-------------|
| 3年 | 「じしゃく」 |
| 4年 | 「もののあたたまり方」 |
| 5年 | 「流れる水のはたらき」 |
| 6年 | 「つりあいとてこ」 |
| 中 | 「3年 地球と宇宙」 |



その後は、学習の具体的な場面をイメージしながら指導案を作成した。支部で用意しておいた教材を活用しながら授業づくりを進めたことにより、より実態に即した指導案を作成することができた。なお、指導案の作成については、パソコンを使わずに模造紙に書き込む形式で行った。そうすることによって、より研修員同士の対話が深まったように感じた。

(4) 研究発表

各学年 10 分の持ち時間で、前半で指導計画の説明、後半で模擬授業を行った。模擬授業では、先生役と生徒役を研修員が交互に行い、自分たちが考えた指導案にそって授業を進めた。どの班も、事前に何度も練習を重ねていたのので、要点をまとめた説明、分かりやすい授業を行うことができた。



(5) 閉会行事

- | | |
|----------------|--------|
| ① 実行委員長挨拶 | 川島 政吉 |
| ② SSTA 理事挨拶 | 鈴木 和美様 |
| ③ 財団役員挨拶 | 福留 仁様 |
| ④ 次期開催支部事務局長挨拶 | 和野 浩哉様 |
| ⑤ 事務局連絡 | 木村 栄二様 |



(6) 視察研修

閉会行事後に視察研修を行った。動物本来の姿を見ることができる「行動展示」で有名になった旭山動物園の見学を行った。短い時間ではあったが、研修員は、今回できた仲間たちと楽しい時間を過ごすことができた。

6 おわりに

本研修会では、北海道・東北の各地から先生方が参加してくださいました。2日間という短い期間であったが研修員の先生の熱気に包まれた内容の濃い研修となった。このような機会をいただいたソニー教育財団には特段の御支援、御配慮を賜ったことに深く感謝申し上げます。

